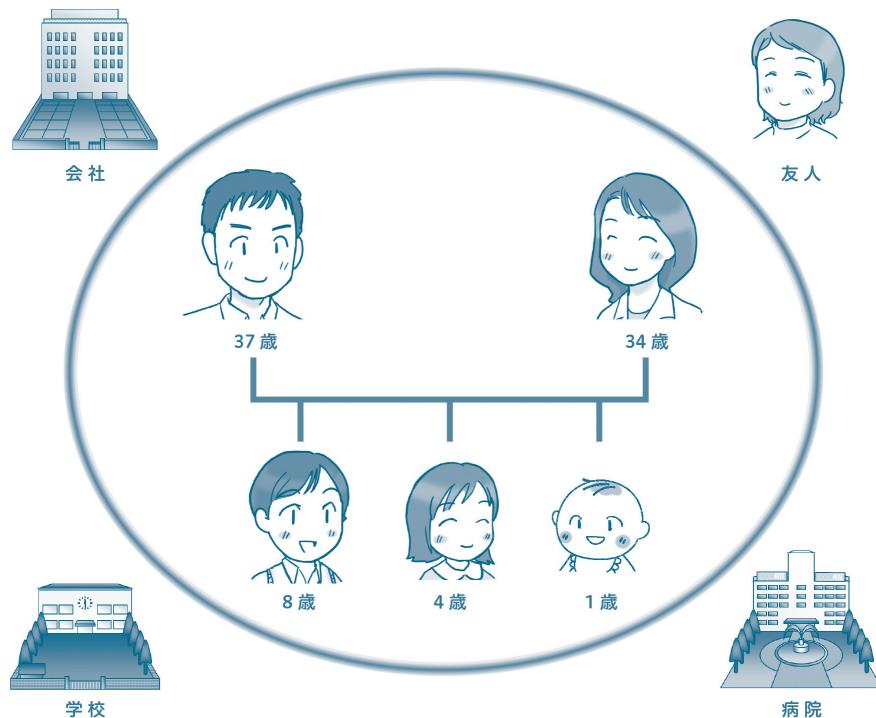


家族コード：_____

記入年月日：_____ 年 月 日

FEM-JA (家族環境地図)



The Japanese Version of the Family Environment Map (FEM-JA)
©Naohiro Hohashi

作成にあたってのお願い

この家族環境地図は、あなた（あなたがた）の家族の構成、家族の方との間の相互関係、家族と家族以外の方との関係、家族が利用している施設や制度、家族の範囲などを図式化するためのツールです。私どもと一緒に、家族環境地図（2ページ目と3ページ目）を作成します。これから私どもがあなた（あなたがた）に質問をしますので、できる限りご家族の方で相談しながら、ご家族全体としての意見を答えてください。

“家族”とは、あなた（あなたがた）が家族であると考えるひとびと（あなた自身を含む）のことで、例えば、親、婚姻関係が成立している配偶者・パートナー（同棲・内縁・事実婚関係者も含む）、こどもなどで構成されます（同居の有無は問いません）。ただし、亡くなったひと、お腹の中の赤ちゃん、ペットは含みません。

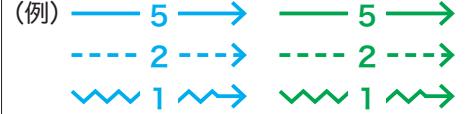
家族員の人数：_____名

補足説明・追加情報：

凡 例

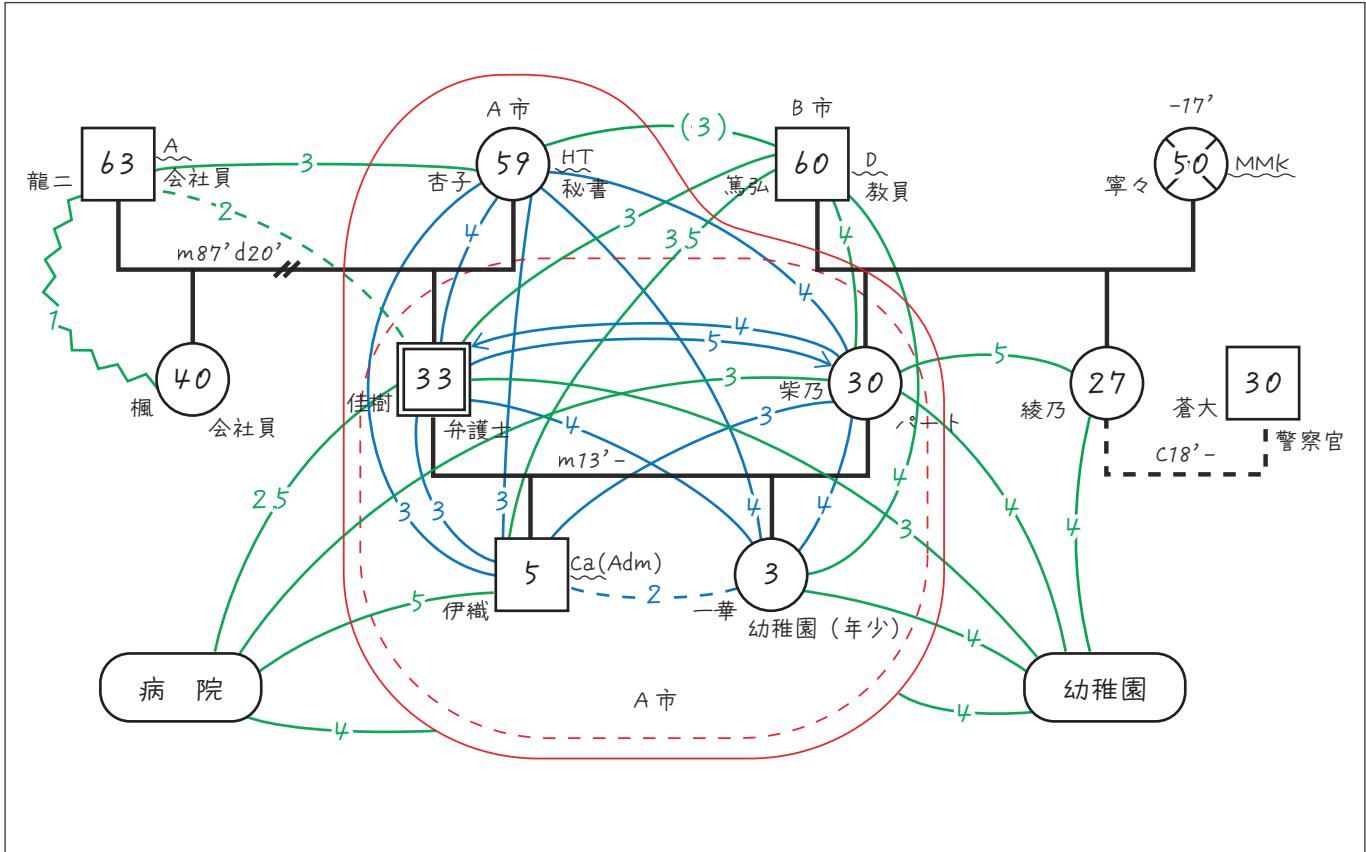
記 号	意 味	記 号	意 味
<input type="checkbox"/>	男 性		同居者の範囲（赤色の点線で記入）
<input type="circle"/>	女 性		家族インターフェイス膜の所在（赤色の実線で記入）

関係線の図示法

家族内部環境との関係／家族外部環境との関係	図示法（家族内部環境との関係は青色、 家族外部環境との関係は緑色で記入） ^{a)}
レベル 5. 大変うまくいっている／適切な距離にある	   
レベル 4. ややうまくいっている／ほぼ適切な距離にある	   
レベル 3. どちらでもない／どちらでもない距離にある	   
レベル 2. あまりうまくいっていない／やや不適切な距離にある	   
レベル 1. まったくうまくいっていない／不適切な距離にある	 
注意：関係の向き（一方的な関係）は、上記の関係線の終点にアロー ヘッド（矢尻）を付けることによって示すことができる	(例) 

a) 家族の主観的判断ではなく、看護職者が推定した関係レベルは、丸括弧の中に数値を入れる。また、家族外部環境同士の関係線は緑色にする。

FEM のマッピング例



注意：マッピング方法の詳細は、『アセスメントガイド』を参照する。家族外部環境は、角丸長方形（4つの角が丸くなった四角）の中に個別に書き込み、家族インターフェイス膜の外部に配置する。病気／障がい名（必要に応じて医学略語もしくは外国語表記を使用）には、波線の下線を引いて明示する。

FEMに記入できる事項／項目

家族員、直系尊属・直系卑属の居住地	居住地を都道府県だけではなく市町村のレベルで記入し、家族外部環境にある家族員、直系尊属・直系卑属のひと（ひとびと）の居住地との距離（構造的距離）を記入する。必要に応じて、居住期間（年月単位）についても記入する。
家族／家族員とつながりがある関係機関（もの）	保健・医療・福祉施設（地域包括支援センター、デイサービス〔通所介護〕、デイケア〔通所リハビリテーション〕など）、教育・保育機関、生涯学習施設、利便施設（郵便局、銀行、スーパー・マーケット／コンビニエンスストアなど）などを示す。これらの所在地を都道府県だけではなく市町村のレベルで記入し、家族の居住地との距離や家族／家族員が利用する頻度、利用するための交通手段などを記入する。
家族／家族員が利用している制度（こと）	介護保険制度、訪問看護、訪問介護、ショートステイ（短期入所生活介護、短期入所療養介護）、配食サービスなどを示す。これらの制度を提供する関係機関の所在地を都道府県だけではなく市町村のレベルで記入し、家族の居住地との距離や家族／家族員が利用する頻度（構造的距離）も記入する。
家族／家族員とつながりがある関係者（ひと）	親類（遠い親類を含む）、友人、近所のひと、職場のひと（同僚、上司など）、看護職者、介護支援専門員（ケアマネジャー）、訪問介護員（ホームヘルパー、ヘルパー）、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、民生委員などを示す。これらひと（ひとびと）の居場所を都道府県だけではなく市町村のレベルで記入し、家族の居住地との距離や家族／家族員が接する頻度（構造的距離）、接するための交通手段などを記入する。

構造的距離図（物理的関係図）：

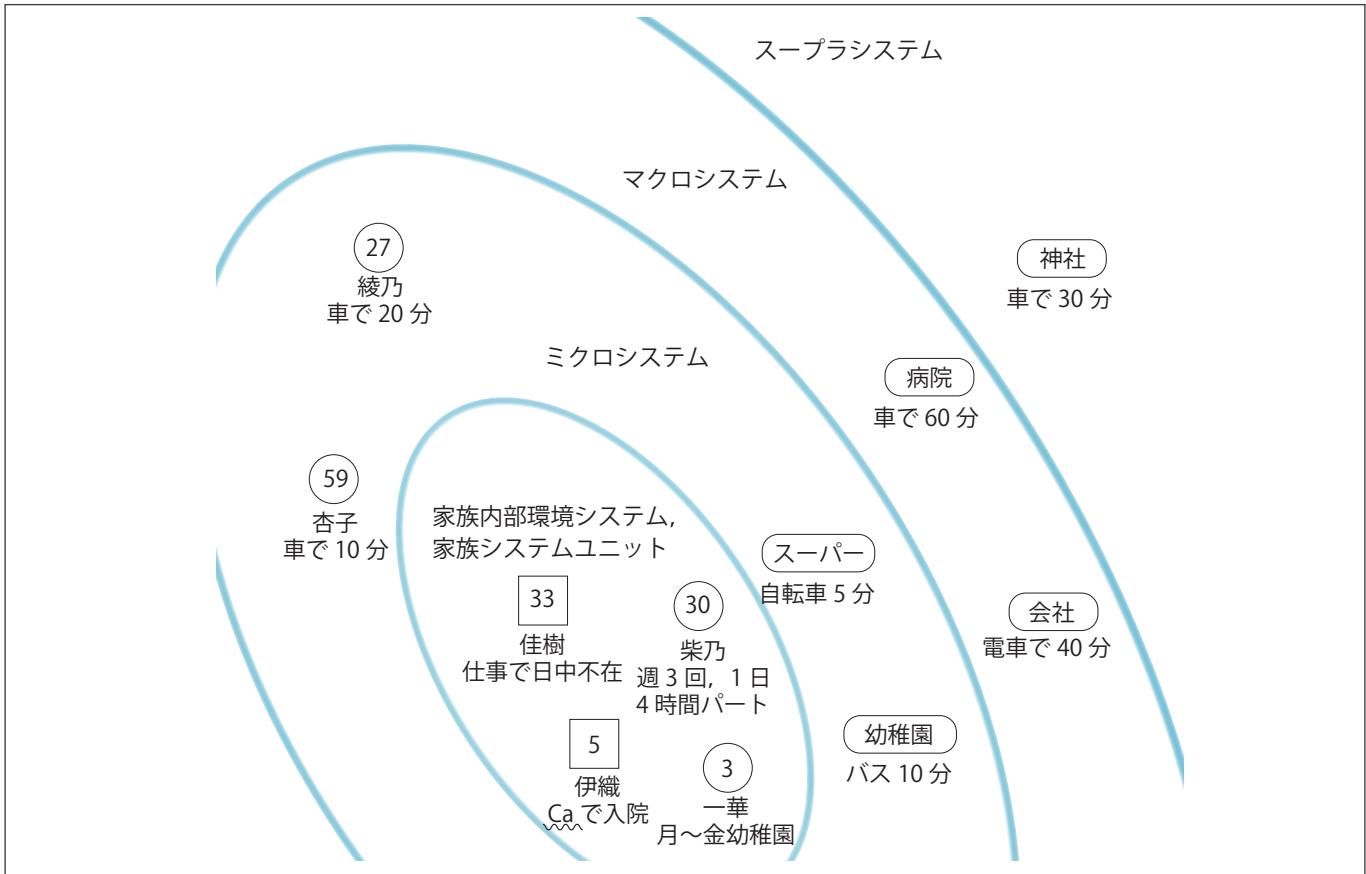


ポイント：FEM にマッピングしきれない家族環境と家族資源は、構造的距離図を活用して構造的距離、関係する頻度などを可視化する。

機能的距離図（心理的関係図）：

ポイント：FEM の関係線のレベルが 2 以下で気になる関係があれば、機能的距離図を活用してその関係をさらにアセスメントする。

構造的距離図（物理的関係図）のマッピング例（家族資源の不足／充実などに気づく）

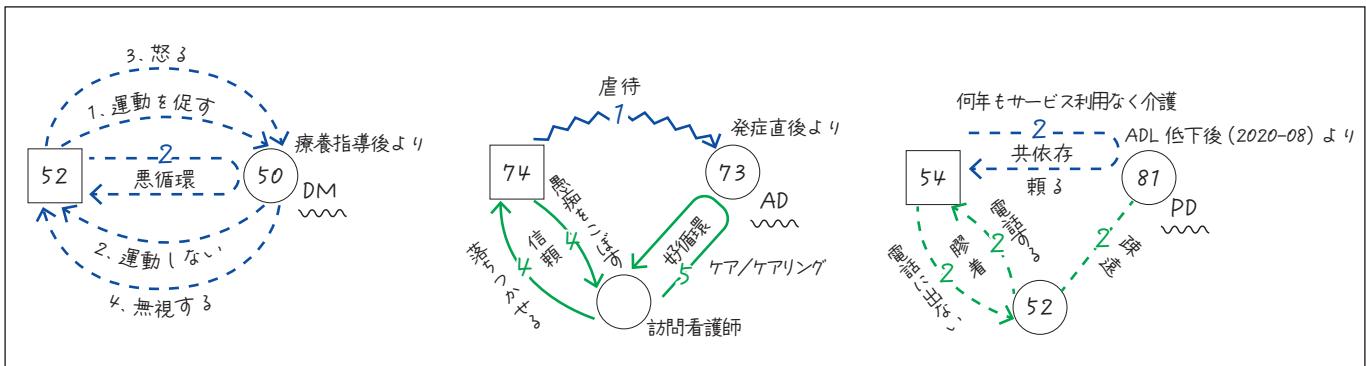


機能的距離（心理的関係）の図示法

2者間の関係のみならず、3者間以上の関係も図示できる。図示した関係が生じた時期（年月日など）、継続期間、関係の原因となったイベントなどを記入する。

関係	記号 (青色もしくは緑色)	関係パターン
一方的関係（因果関係）	→	虐待／愛護、暴力／思いやり、干渉／放任、統制／放任、従属／支配、崇拝／軽侮など
双方向的関係	↔	不仲／円満、不信／信頼、反抗／従順、敵対／友好、対立／協調など
円環的関係	↔ (U形)	悪循環（負のスパイラル）／好循環（正のスパイラル）、共依存など

機能的距離図（心理的関係図）のマッピング例（悪循環パターンなどに気づく）



使用上の注意：FEM-JA は、研究・実践・教育を目的とする場合は、出典を引用すれば、無料で自由に使用できる。

FEM-JA（家族環境地図）バージョン3.2JA

法橋尚宏 神戸大学大学院保健学研究科家族看護学分野（家族支援 CNS コース）

開発論文： Hohashi, N., & Honda, J. (2011). Development of the Concentric Sphere Family Environment Model and companion tools for culturally congruent family assessment. *Journal of Transcultural Nursing*, 22(4), 350-361. <https://doi.org/10.1177/1043659611414200>

マニュアル：法橋尚宏. (2019). *FEM-J(家族環境地図)のアセスメントガイド(バージョン3.0対応版)*. 川崎：エディテクス. ISBN : 978-4-903320-51-9

開発歴：

Jul. 6, 2005	1.0JA	発行
Dec. 17, 2008	1.1JA	発行
Aug. 24, 2010	1.2JA	発行
Mar. 5, 2011	2.0JA	発行
Feb. 18, 2012	2.1JA	発行
Jan. 10, 2013	2.2JA	発行
Jun. 12, 2014	2.3JA	発行
Apr. 14, 2017	2.4JA	発行
Apr. 30, 2019	3.0JA	発行
Nov. 12, 2020	3.1JA	発行
Oct. 27, 2022	3.2JA	発行

2023年2月10日 初版第1刷発行

発行人： 中川 清

発行所： 有限会社 EDITEX (<http://editex.jp/>)

〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区南平台 20-37-401

© Naohiro Hohashi

Printed in Japan

ISBN 978-4-903320-63-2